

# 歴史的なまちなみ景観を生かして

## ◆ 眺望景観の向上

彦根市のシンボルである国宝を有する**彦根城**の周辺では、歴史的景観との調和を念頭に置き「彦根市景観計画」や「彦根市屋外広告物条例」の運用を通して、建築物や屋外広告物の施設整備の際に形態意匠や色彩などに配慮し、良好なまちなみ景観の形成を進めています。彦根駅西口から彦根城天守方向の眺望（右写真）の向上に努めています。



## ◆ 歴史的建造物の保存修理および民間による活用

景観重要建造物に指定している建造物（辻番所）の保存修理を行っています。修理を終えた建造物は、一般公開をされるほか、地元のまちづくり組織（彦根辻番所の会やNPO法人彦根景観フォーラム）が中心となり、景観に関するシンポジウムやワークショップをこの施設を生かして開催されるなど有効に活用されています。



## ◆ 彦根城周辺の環境整備

彦根城の周辺では、来訪者がまち歩きをしやすい環境を整備するため、歴史的景観に調和した公共施設やサインなどの整備を行っています。



## ◆ 重伝建地区における保存対策

平成28年に「彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区」が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、修理や修景を通して歴史的なまちなみ景観の保存に取り組んでいます。

